



三春滝ザクラ（みはるたきざくら）

福島県田村郡三春町にある樹齢1,000年以上の日本を代表する桜の巨木で、日本三大桜の一つ。西の淡墨桜（岐阜県）に対して東の横綱に位置づけられています。

株主の皆様へ

第42期第2四半期報告書

平成20年10月1日から平成21年3月31日まで

個人投資家の皆様へ

詳しくはホームページを
ご覧下さい。

<http://www.asaka.co.jp>



株式会社アサカ理研

証券コード：5724

■ 株主の皆様へ

株式会社アサカ理研は、平成20年11月6日、ジャスダック証券取引所に上場いたしました。これもひとえに株主の皆様のご支援、ご高配の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、「豊かな創造性を発揮し、社会貢献を果たす」を社是とし、創業以来使用済み資源の回収・再生技術を柱として発展してまいりました。

市場ニーズを発掘し、解決する中で生まれた発想や技術が当社の原動力であります。今後も当社は、「市場創造型企業」として、独自の技術で新たな製品・サービスを開発・提案し、企業価値の向上に努めてまいります。

平成21年9月期第2四半期（累計）においては、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機が、世界経済に波及し、大幅な景気後退局面にあります。このような状況のもと、当第2四半期（累計）の業績は売上高4,344百万円、営業損失40百万円、経常損失86百万円、四半期純損失194百万円となりました。

今後の経済環境につきましては、世界的な景気の低迷が長期化する懸念もあり、当社の業績に影響する電子部品デバイス分野の生産については、早期に回復す

ることは難しいと想定しております。貴金属、銅の市況についても、一時の急激な下落から徐々に値を戻しているものの、為替の円高懸念もあり、予断を許さない厳しい状況が継続するものと想定しております。

このような厳しい事業環境に対応するため、生産の合理化、人件費の削減、その他全般的なコスト削減等の諸施策を継続して推進するとともに、新たな市場や新規顧客の開拓にも注力してまいります。この景気の低迷期を企業体質を強化する準備期間と捉え、回復期には大きく成長できるよう邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

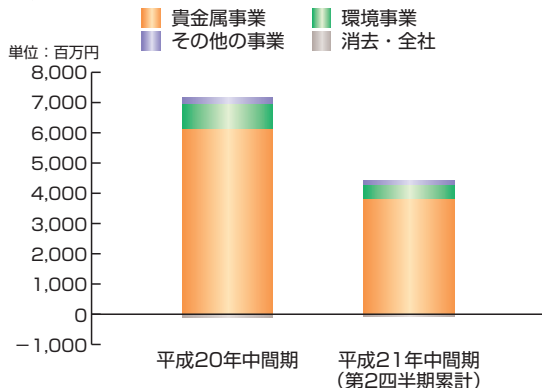


代表取締役社長 山田 慶太

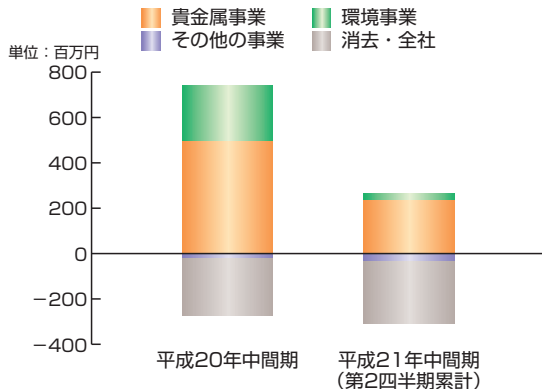
■ 当第2四半期連結累計期間の概況

事業セグメント別損益

●売上高



●営業利益



■貴金属事業

当事業の主要取引先の属する電子部品・デバイス工業分野においては、生産数量が急激に落ち込んでおります。特に、当社のシェアが高い水晶関連業界は平成20年11月頃より大幅な生産調整に入り、日本水晶デバイス工業会の発表する生産数量は前年同期比で33%の減少を示し、更に当社の取引先においては工場の一時帰休等、大幅な生産調整を行っております。また、主力製品である金の価格も、当期間に金融危機や円高の影響を受けて下落し、その後徐々に値を戻してきたものの、当期間平均では大きな下落となりました。

この結果、貴金属事業全体としては、金、銀、プラチナ、パラジウムの価格はいずれも前年同期の水準を下回り、また、電子部品デバイス分野の生産調整の影響を大きく受け、売上高は3,821百万円、営業利益は238百万円となりました。

■環境事業

当事業の主要取引先が属するプリント基板業界においては、前述の景気後退による影響を受け当期間の国内生産は振るわず、特に自動車部品関連を中心に相当な打撃を受けるに至りました。北関東、新潟、東北地方に位置する当社の主要取引先においては、急激にその生産を減少いたしました。また、主力製品である銅ペレットの販売単価については、景気後退と円高の影響により急落し、現在では徐々に値を戻しているものの、下落前の水準には至っておらず、当期間平均では大きな下落となりました。

この結果、環境事業全体としては、主力製品である塩化第二鉄液、銅ペレットにおいて、プリント基板業界の生産調整、銅市況悪化の影響を受け、売上高は464百万円、営業利益は29百万円となりました。

■その他の事業

システム受託開発事業においては、昨今の景気悪化の影響を受け、システム開発への予算凍結や延期を行う取引先が増加傾向にあり、事業環境は厳しさを増してきております。このような状況の中、新製品である食品業界向け危機管理システム「ハザードナビ」の販売を推進しつつ、開発コストやその他経費の削減等について努めてまいりました。また、運輸事業においても同様、経営努力を行ってまいりました。

この結果、その他の事業全体としては、売上高は142百万円、営業損失は33百万円と損失が増加いたしました。

■ 第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成21年3月31日)	前期末 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産	2,757	2,700
固定資産	2,041	2,102
有形固定資産	1,852	1,867
無形固定資産	41	46
投資その他の資産	147	188
資産合計	4,799	4,802

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成21年3月31日)	前期末 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債	2,018	2,207
固定負債	1,181	1,117
負債合計	3,200	3,324
純資産の部		
株主資本	1,581	1,438
資本金	504	310
資本剰余金	339	145
利益剰余金	737	983
評価・換算差額等	17	39
純資産合計	1,599	1,477
負債純資産合計	4,799	4,802

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成20年10月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	4,344
売上原価	3,795
売上総利益	549
販売費及び一般管理費	590
営業損失（△）	△40
営業外収益	9
営業外費用	56
経常損失（△）	△86
特別利益	31
特別損失	40
税金等調整前四半期純損失（△）	△96
法人税等	98
四半期純損失（△）	△194

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成20年10月1日～ 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー	804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	121
現金及び現金同等物の期首残高	947
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,068

■会社概要

商 号	株式会社アサカ理研
本 社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	昭和44年8月25日
事業内容	
①貴金属事業	金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精錬処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売
②環境事業	塩化第二鉄液、クロムエッチング液、使用済み廃液の回収、水処理剤、銅粉、銅ペレットの精製及び販売
③その他の事業	自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売、工業薬品の運搬、廃液の収集運搬
資本金	504,295,600円

■役 員

代表取締役社長	山田 慶太
取締役	吉田 隆之
取締役兼執行役員	志村 高史
取締役兼執行役員	佐久間幸雄
取締役兼執行役員	鈴木 忍
取締役	桜井 正孝
取締役	熊谷 巧
取締役	三崎 秀央
常勤監査役	大谷 勝男
監査役	森 勝房
監査役	遠藤 政勝

(注) 監査役大谷勝男氏及び遠藤政勝氏の両名は、社外監査役であります。

■株式の状況

発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株
株主数	1,342名

■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
山田 慶太	716	27.84
有限会社モラル・コーポレーション	341	13.25
山田 盛久	224	8.72
アント・ブリッジ2号投資事業有限責任組合	140	5.44
野村ホールディングス株式会社	100	3.88
日本生命保険相互会社	72	2.81
株式会社常陽銀行	60	2.33
東京中小企業投資育成株式会社	50	1.94
第一生命保険相互会社	50	1.94
株式会社東邦銀行	31	1.20

■当社についての一口メモ

金の純度を上げる精製方法は、溶液の中で電極に金イオンを付着させることで不純物を除去する電解法が一般に知られています。しかし、この方法は大量に破砕屑を投入し、大ロットの貴金属を回収する大規模なプラントが必要とされ、精製時間も1～2週間と長期にわたります。これに対して、当社が世界で初めて実用化した溶媒抽出法は、小ロットに対応し、5～6時間で精製が終わり、処理量の変動に柔軟に対応できます。この手法を用いて当社が開発した高速精錬装置「ハイエクト」は、世界9ヶ国で製法特許を取得しています。

■ 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月下旬
1単元の株式数	100株
剰余金配当の基準日	毎年9月30日、3月31日 この他必要があるときは予め公告して定めます。
株主総会の基準日	定時株主総会については9月30日といたします。 この他必要があるときは予め公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル） 東京証券代行株式会社 本店
郵便物送付先 連絡	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話番号 0120-49-7009（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告 ウェブサイト http://www.asaka.co.jp ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株式に関する 各種手続の申出先	住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

初夏、緑輝くふくしまで新しい発見と感動体験



日差しがだんだん強くなってきたら、ふくしまにも夏の訪れ。遠くには、鮮やかな緑の山々、ふと足元をみれば咲きだした花々に目を細め、里には豊かな果物の宝庫。感動をもたらすふくしまの豊かさを、あなたの目で発見してください。

福島県の観光ならココ！

かんたんふくしま で検索 <http://www.tif.ne.jp>

福島県の観光情報・パンフレットのご請求は
うつくしま観光プロモーション推進機構（財団法人福島県観光物産交流協会 内）
福島市三河南町1番20号コラッセふくしま7階
TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087 E-mail：tif@tif.ne.jp